

新発田市 令和6年度 第9回定例記者会見

1 日 時 令和6年11月25日(月)午前11時～

2 場 所 ヨリネスしばた501会議室

3 内 容

【市長発表項目】

○旅前納税(直販型)・旅中納税を始めます

○「東公園ウィンターライトアップ」開催

【その他】

○義士祭

○赤穂義士の法被姿で「堀部安兵衛」生誕の地をアピールします！

○「2024 しばた人権フェスティバル」開催

○令和6年冬の交通事故防止運動「飲酒運転根絶呼びかけ活動」

○令和6年度市民表彰式 令和7年新発田市新春を祝う会

あいさつ

○長期予報によれば、今年の雪は平年並みということで、雪国の宿命でありますので頑張って冬を越して、来春は素晴らしい年になるといいなと思っています。

○12月議会は、恒例の四十七士の法被を着て開催します。

○「十一人の賊軍」が公開されました。この映画は新発田藩の裏切りが題材になっています。映画としての出来は非常に良いのですが、新発田のイメージアップには繋がらないと思いました。これは私の持論であります。新発田藩の戊辰戦争におけるあの行動はやはり裏切りだと思っています。ただ、新発田の歴史に詳しい人ほどあれは決して裏切りではないという意見をお持ちのようであります。市民の大多数の皆さんはそのように理解しているのではないのでしょうか。私が裏切りだと思う根拠は、侍は物を生産しないにも関わらず、身分制度の一番上にいたわけですから、いかに武士道が侍にとっては大きな価値観だったかということにあります。協力しなかったという点では、武士道のルールからいけばそれは裏切りと言われてもやむを得ないでしょう。ただ、裏切りという汚名を溝口半兵衛が一身に背負ってでも、民を守ろうとした政治判断は正しかったと思っています。政治をやるものとして市民の命と財産を守ることは、我々に課せられた一番の使命でありますので、溝口半兵衛は河井継之助よりもはるかに政治家として、そして武士として立派な行爲をしたと思います。

○2018年のサッカーのワールドカップのときに、日本は最終戦でポーランドと対戦し0対1で負けていました。そのとき得失点差で同数だったのがセネガルです。セネガルはコロンビアと戦っていてやはり0対1で負けていました。得失点差は同数でしたが、反則の数はセネガルが多かったので、このまま0対1で負ければ日本が決勝トーナメントに行けるという状況でした。そのとき西野監督は、負け逃げを選択しました。子どもたちに勝ち逃げは説明できるが、負け逃げは説明できません。でも、あえてそれを西野さんは指示しました。終わった後、記者からあれは負け逃げですかと聞かれたときに、その通りですとはっ

きりそれを認めていました。西野さんも溝口半兵衛も一切言い訳をせず、全て私の責任として受けています。溝口半兵衛が裏切りという汚名を着てでも領民を守ろうとしたその姿勢を新発田市民が受け入れたときに、河井継之助よりも溝口半兵衛の素晴らしさが分かるでしょう。

○十一人の賊軍がお酒のラベルになったり、クラフトビールセットが販売されたり、市民を挙げて一生懸命売っているようでありますので、大ヒットになることを期待しております。

それでは、会見項目を説明いたします。

はじめに、^{たびまえ}旅前納税(直販型)^{ちよくはんがた}・^{たびなか}旅中納税のスタートについてです。

○近年、全国の自治体が「ふるさと納税」に取り組んでおり、当市も、新発田市のPR及び貴重な財源確保策として力を入れているところでもあります。

○当市の「ふるさと納税」返礼品には特産品も多くありますが、月岡温泉旅館感謝券が大きなウェイトを占めていることから、複数ある旅行先の候補地から月岡温泉を選んでいただくきっかけとなるよう、新たな取組を開始します。

○一つ目は、旅行前にふるさと納税を行う、いわゆる「^{たびまえ}旅前納税」の強化です。現在、当市の返礼品である月岡温泉旅館感謝券は、ふるさと納税のポータルサイトなどで寄附された方に返礼品として感謝券を送付し、宿泊時に感謝券で精算していただきます。

○この度、新たに、旅行を計画している方をターゲットとし、月岡温泉の各旅館のホームページを検索した際に、ページ内に貼った専用のバナー等からふるさと納税を行い、返礼品として宿泊割引の電子クーポンを受け取ることができる手法を導入いたします。これにより、宿泊予約とふるさと納税が同時にできるようになります。

○こうした取組は、全国的にも始まったばかりではありますが、新型コロナウイルスの経済対策のひとつであった「^{ゴートゥー}GoToトラベル」に携わった企業から、県内の「^{ゴートゥー}Go Toトラベル」において月岡温泉の利用割合が高かった実績から提案を受けたものです。類似の事業は他の企業でも扱っているようですが、同社の事業としては県内初であり、利用開始は12月2日からの予定であります。

○二つ目は「^{たびなか}旅中納税」により寄附機会を増やす取組です。これは、「^{たびまえ}旅前納税」とは異なり、月岡温泉に滞在する方をターゲット

トとし、旅館でくつろいでいるときに、各客室に設置する QR コードからスマートフォン等でふるさと納税を行い、宿泊料金の精算時に寄附額に応じた宿泊料等を割り引くというものです。

○「旅中納税」は既にいくつかの企業が提供し、観光需要の高いエリアを中心に広がりつつある手法ですが、今回、月岡温泉旅館協同組合の御協力を得て当市でも導入するものであり、来年 1 月からの利用開始を目指しております。

○これらの取組により、ふるさと納税をしたことがない方や、特産品の返礼品でしか利用したことのない方に対し、月岡温泉を御利用の際は、いつでもどこでもふるさと納税を御利用いただけることをアピールし、新たな需要を掘り起こしたいと考えております。

次に、「東公園ウィンターライトアップ」の開催についてです。

○昨年、東公園に蔵春閣がオープンし、駅前エリアは多くの人々が賑わう観光スポットに生まれ変わりました。しかし、秋の行楽シーズンも終盤を迎えており、この時期が過ぎると人の流れが減り、観光入込数も減少していく、新潟の冬ならではの課題に直面するのは、このエリアも例外ではありません。

○この課題を払拭するべく、この度、城下町新発田まつりの電気仮設工事をお願いしている「菖城電設協同組合」から、「人通りが減る冬期に、東公園周辺を華やかにライティングし、若者をはじめ、たくさんの人が訪れる新たな人気スポットにしたい。」という御提案をいただき、同組合の企画による「東公園ウィンターライトアップ」を開催いたします。

○蔵春閣周辺や東公園の SL 機関車をライトアップするほか、イルミネーションによるシンボリツリーや、クリスマス、お正月など冬のイベントに合わせたプロジェクションも行う予定にしております。

○開催期間は、12 月 20 日から 2 月中旬までの 2 か月間、点灯時間は午後 5 時から 10 時までを予定しております。

○イベントに合わせて表情を変える、まちなかの冬の新たな賑わいスポットが誕生いたしますので、是非とも、その表情を間近でご覧いただきたいと思います。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。